



報道発表資料

2002年10月30日
インフォテリア株式会社

インフォテリア、ビジネス・インテグレーション・プラットフォーム 『ASTERIA R2』新版を出荷開始

～ 三菱商事をはじめ、すでに 20 社で採用を決定 ～

インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野 洋一郎）は、社内外のビジネス・ネットワークを柔軟につなぎ、さまざまなレベルのデータ連携を可能にするビジネス・インテグレーション・プラットフォーム「ASTERIA R2（アステリアールツー）」の新版を、本日より出荷開始したことを発表しました。

このたび出荷開始される「ASTERIA R2」新版は、Windows および各種 UNIX のマルチプラットフォームに対応しているほか、さまざまな業界の BtoB 標準に対応する RosettaNet、Ariba、SAP MRO、ebXML、NewsML などの BtoB オプションがラインアップに追加され、また SAP R/3 アダプタ、Lotus Notes/Domino アダプタ、Excel アダプタ、XML データベース（Tamino、eXcelon）アダプタ、PostgreSQL アダプタなど、アダプタを大幅に拡充しました。さらに、システム・インターフェイスの新しい標準である「Web サービス」を利用したり、外部に Web サービスを提供したりすることが可能となります。

また、社内外を問わずシステム間インターフェイス開発をプログラミングレスで実現する直観的な設計環境「ASTERIA Designer」の機能がさらに充実しました。例えば、仕様書作成機能によるドキュメント作成支援や、人間の Web 操作手順をサーバーに記録して自動的なデータ取得を行う「Web Macro Recorder/Player」による Web-EDI システム連携など、現場での設計・運用に大きく役立つ機能を搭載しました。

「ASTERIA R2」新版は、すでに**三菱商事株式会社**の金属グループにおいて採用が決定されています。同社では、ASTERIA R2 新版の採用について「重厚長大産業の代表格とされる鉄鋼業界においてもビジネスモデルの変革が急速に進んでおり、IT の活用が各企業における競争力の源泉の大きなファクターとなりつつあります。そのような環境下、当社として求めていた次世代の情報流通プラットフォームの基盤を支える IT ソリューションとして、ASTERIA R2 の採用を決定しました。ASTERIA R2 が提供する斬新な機能は、まさに当社が IT 革新に期待していたものの具現であり、そしてそのパフォーマンスは、当社が追求する付加価値創造型ビジネスの根底を支えるビジネス・インテグレーション・ツールとして最適であると評価させていただき、導入に踏み切りました。」とされています。

「ASTERIA」は、2001年1月に最初の製品を出荷して以来、業界標準のBtoBプロトコルに準拠した企業間データ交換を実現する「BtoBサーバー」から、社内外、業種・業態を問わず、幅広いお客様のシステムを「つなぐ」ニーズに対応する「ビジネス・インテグレーション・プラットフォーム」へと進化しました。

大手企業 20社で既に採用

「ASTERIA R2」新版は、三菱商事株式会社など20社において高く評価され、採用されています。これらの採用事例は、報道業界、金融業界、建設業界、流通業界、自動車業界、電子電機業界など幅広い業界の有力各社を中心に、業界標準のBtoBプロトコルを使用したソリューションだけでなく、独自方式によるBtoBソリューション、さらには社内データの統合のためのソリューションなどさまざまなビジネス・インテグレーションに使用されています。

価格・動作環境

「ASTERIA R2」はWindowsから各種UNIXまで多くの稼働環境に対応し、価格は1CPUあたり400万円からとなります。また、アダプタ製品群は1CPUあたり80万円から、BtoBオプション製品群は、1CPUあたり400万円からとなります。

インフォテリア株式会社について

インフォテリア株式会社は、XMLを中心とした先進の技術を、リアルワールドで適用できるソフトウェアおよびソリューションとして提供する会社です。インターネット基盤データ技術「XML」を活用するためのコンポーネント製品や、企業内外のさまざまなデータ変換・システム連携を容易に実現するビジネス・インテグレーション・プラットフォーム「ASTERIA (アステリア)」を提供しています。

<http://www.infoteria.com/>

#

<お問い合わせ先>

info@infoteria.co.jp

(電子メール)

<http://www.infoteria.com/>

(ウェブサイト)

大橋 みどり

(広報担当)

以上

ASTERIA R2 新版 機能概要

ASTERIA R2 新版は、直観的な GUI ベースの設計環境「ASTERIA Designer R2」とスケーラビリティの高い稼動サーバー「ASTERIA Server R2」の最新版で、多くのサービス・コンポーネント、BtoB オプションの拡充とともに、既存ユーザーからの要望に応えたさまざまな機能を追加しています。

ASTERIA Designer R2 特長

- ・ ドラッグアンドドロップとプロパティ設定だけで高度なビジネスフロー設計する、徹底的にコーディングを排した GUI 設計環境
- ・ 高レベルに抽象化されたビジネスコンポーネントとデータフローの表現による、ビジネスフローの可視化の実現
- ・ 豊富なサービス・コンポーネントの提供（以下例）
 - Oracle、IBM DB2、MS SQL Server、MS Access、PostgreSQL などの RDB アクセス
 - 各種 XML DB、SAP R/3、MQ、Notes/Domino へのアクセス
 - Excel、PDF、グラフ、XML、HTML、eMail など各種フォーマット変換
 - HTTP(S)、FTP、SOAP（Web サービス）、SMTP/POP/IMAP、WebDAV などネットワーク接続
- ・ XML、CSV、固定長、テキストおよびバイナリのさまざまなデータ形式のマッピングと高速変換処理
- ・ 外部システムからの起動やスケジュールによる起動、およびポーリングによる起動、Web サービスとしての実行等、フローのさまざまな実行設定
- ・ フローのボトルネック発見を助けるプロファイリング機能、システムのドキュメンテーションを支援する仕様書出力機能等の提供

ASTERIA Server R2 特長

- ・ Windows、各種 UNIX などマルチプラットフォームでの稼動
- ・ Java ベースの高度な処理エンジン
- ・ BtoB のセキュリティポリシーも満足させる PKI などのセキュリティ機能
- ・ モニタリング機能による自動復旧、サードパーティ製クラスタ製品の使用などによる高い耐障害性
- ・ 直線的に処理能力が向上する CPU 増強によるスケールアップと、エンジンとストレージの分離などによるスケールアウトの両アプローチによるスケーラビリティの確保
- ・ 外部システムとの通信用に HTTP(S)、FTP、SMTP/POP3/IMAP4、WebDAV、SOAP などの標準プロトコルが利用可能。

ASTERIA R2 新版での主な追加機能

サービス・コンポーネントおよびその他の機能

Excel アダプタ

Excelワークシートファイルからデータを入出力しフロー処理を行えるととても便利な機能です。UNIXも含めた全てのASTERIA Server上でExcelアプリケーションを使わずに直接Excelワークシートを処理するので、大多数のクライアントで追加の教育・インストール等を必要とせず高度なデータ処理機能を利用することができます。

Notes/Domino アダプタ

Lotus Notes R4.6以上のNotes DBに対しデータの入出力を行う追加アダプタです。Notes DB内のデータを他のRDB等と同じようにフロー処理可能になります。

SAP R/3 アダプタ

社内のSAP R/3に対しデータの入出力を行う追加アダプタです。iDOC形式でSAP R/3に対しデータの入出力を行うことが可能になります。

Web Macro Recorder/Player

対人間用のWebアプリケーションをも自動化処理に含めることのできるユニークな機能です。Webサイトでのユーザーの処理手順をRecorderで記録し、Playerで再現します。Webサービス専用サイトだけではなく、数多くのWebアプリケーションが利用可能になるので、ビジネスインフラとしてのインターネットの活用の幅が大きく広がります。

仕様書印刷機能

図示化されたビジネスフロー図と個々のコンポーネントの設定を組み合わせHTMLとして出力し、システムのドキュメンテーションを支援する大変便利な機能です。

eXcelon サポート、Tamino サポート、PostgreSQL サポート

XML DBコンポーネント、RDBコンポーネントにeXcelon、Tamino、PostgreSQLのサポートが追加されました。

FTP サービス

ASTERIA Server自身にFTPサービス機能が追加されました。

BtoB オプション/サービスの完備

BtoB を即座に開始可能であり、さらに ASTERIA R2 の各機能と組み合わせることで社内システムとの迅速な融合も実現可能な各種 BtoB オプション/サービスが完備しました。

RosettaNet オプション

RosettaNet仕様に準拠した各種BtoBメッセージをやり取りするためのアダプタおよびその導入サービスです。

Ariba オプション

アリバ社の展開するMRO（中間財）取引ネットワークに参加するサプライヤ向けのアダプタおよびその導入サービスです。

SAP MRO オプション

SAP社が提供するバイヤー向け間接材調達ソリューション SAP Enterprise Buyerと受発注を行うサプライヤ向けのアダプタおよびその導入サービスです。

ebXML オプション

OASISとUN/CEFACTによって共同で策定されている汎用BtoBフレームワークであるebXMLをいち早く実装したアダプタおよびその導入サービスです。

NewsML オプション

ASTERIA R2 を使用して、次世代のニュース配信フォーマットである NewsML によるニュース配信を行うコンテンツ・サプライヤ向けのソリューションオプションです。

その他

各種BtoBプロトコルに対応したオプション・サービスを今後続々提供予定です。

Infoteria およびインフォテリアは、インフォテリア株式会社の商標です。

本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。